

平成 24 年度 事業計画

【基本方針】

北九州ロボットフォーラムは、産学官で構成する北九州市のロボット産業振興のためのプラットフォームとして下記の活動を行う。

- ①導入可能なロボットやロボット技術の研究開発支援
- ②開発・実証段階を経たロボットについての実用化・事業化支援
- ③人材育成の推進と情報発信・交流の促進

【平成 24 年度事業】

1 会議の開催

(1)総会の開催

平成 24 年 6 月 13 日(水) 西日本総合展示場

(2)セミナーの開催

総会、産学連携フェアに併せて、ロボットや関連技術に関するセミナーを開催する。

2 研究開発の支援

北九州市で生まれたロボットが実際に導入され、製品化・商品化につながるように、市場を見据えた研究開発プロジェクトを促進する。ユーザーとのマッチングや国等の研究開発助成の獲得支援など、コーディネート活動を行う。

(1)市内発ロボット創生事業

市内発ロボットフォーラムとの連携を深めるため、開発テーマを広く北九州ロボットフォーラムの会員からも募集する。北九州市内でのロボットニーズ調査から試作品づくり、事業化支援までを、トータルにサポートすることにより、新たなプロジェクトの立上げやニーズに応じた開発を支援する。

(2)助成プロジェクトの立ち上げ支援

市内外、企業・大学を問わず助成プロジェクトの申請支援や実施体制形成に関する支援活動を実施する。

3 実用化・事業化支援

これまで北九州ロボットフォーラムおよび(公財)北九州産業学術推進機構と連携して試作したロボットの実用化へ向けた課題解決や事業化への支援を実施する。支援対象のロボットは以下のとおり。

- ・医療用上肢リハビリロボット(筋電なしの双腕タイプの改造、筋電マイコンタイプの開発)
- ・ハイブリット型飛行観測システムの開発(平成23年度市内発ロボット創生事業)
- ・脊髄損傷者向け立位保持訓練ロボットの実用化(ロボット産業振興会議助成申請中)
- ・静脈血栓症予防のための小型下肢運動補助ロボットの開発
- ・省エネルギー型無人水中観測システムの開発試作
- ・もぐりんこ(榊石川鉄工所製品化済)

4 人材育成の推進

人ものづくり力の強化を目的とした幅広い人材育成を行うため、これまでのロボカップ中心の人材育成から、幅広いテーマでの開発・ものづくりプロジェクトを支援する「ひびきの高度ものづくり実践人材育成事業」に取り組む。具体的な支援活動として、学生主体のプロジェクトへの公募助成や講習会実施、ものづくり活動のフィールド提供等を行う

5 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報や北九州ロボットフォーラムの活動を積極的に発信する。

(1) 展示会の開催

6月13日(水)～15日(金) ロボット産業マッチングフェア北九州(西日本総合展示場)

(2) 展示会への出展

5月31日(木)～6月2日(土) 第49回日本リハビリテーション医学会学術集会(福岡国際会議場)

6月13日(水)～15日(金) ロボット産業マッチングフェア北九州(西日本総合展示場)

10月17日(水)～19日(金) 産学連携フェア(北九州学術研究都市)

(3) 北九州ロボットフォーラムのPRの推進

各展示会や会議等への出展のほか、ホームページやニュースレター(4回発行/年)による情報発信により、市内外に広く北九州ロボットフォーラムの活動を発信する。

以上